
魔法（プラス）過負荷（マイナス）虚無（ゼロ）

黒い鳥

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

プラス マイナス ゼロ
魔法過負荷虚無

【Nコード】

N8302Y

【作者名】

黒い鳥

【あらすじ】

魔法の才能が無いと言う理由だけで捨てられた、元魔法の名門貴族の息子の少年。

双子だからと言う理由だけで捨てられた、元王子の娘。

そんなマイナスな二人の物語。

プラスを生み出す魔法に、ゼロを司る虚無……そんなものが存在する世界に　過負荷マイナスと言う存在が加わった。

これより、破滅的な物語が始まる。

（前書き）

一年ほど前から考えていた作品。
内容は考えているので気分が乗れば書き始める……かも。

「転生って、テンプレ臭いよね」

「はぁ……転生に……てんぷら？」

「テンプレね。テ・ン・プ・レ」

そんな会話をしている少年少女がそこに居た。

「いや、だけど本当のテンプレ物語だったら神様が現れて、すみません私が間違えて死なせてしまいましたー！ と土下座しながら言うてきて能力とかを結構貰い、そして行きたい物語の世界に行かせてくれるんだけど……」

「神様と会ったんですか？」

「いや。そもそもオレの前世の死因は、オレの失敗^{ミス}だし。間違ったのは神様じゃなく、オレのほうだよ」

「そうですか……残念ですね、レーヤ」

「あ、ジョゼットもそう思う？」

「はい。思います」

仲の良い兄妹のように彼等は笑いながら会話をしていた。

うつろ、その二人の背景に綺麗な花が咲きそうなほど、朗らかに笑っている。

「本当、会いたかったよ　神とか偉ぶっているクソ生意気な奴と。壊したかったなぁ……」

「レーヤは壊したかったんですか？　なら私は　斬^{KILL}る」

腰に下げている刀の柄をなでながら、薄気味悪い笑みを浮かべながら彼女は言った。

「ま、そー言うのは邪気眼使い君達の専門だしね」

「じゃきがん？」

「ようは、幸せすぎて退屈で、自身に裏設定を作っている面白い人たちのことさ」

「なるほど」

少女ジョゼットは頷きながら納得した。

「イラつきますね」

「イラつくよなあ」

「何でそんなに幸せなのに不幸な設定なんて作ろうとするんでしょ
う？」

「幸せだからだろ」

「ですね」

クスクス、と笑う。

あははは、と笑う。

「……そう言えば、聞きました？」

「ん？ 何が？」

「ガリア王国の王様って私と同じように劣化メイジのようですよ」

「へえ……じゃあ、ちよつと会いに行ってみようか。オレ等と同じ
ような マイナス 劣等者か」

「そうですね。私達と同じ劣等種 マイナス かどうか確認しに行きましょうか」

そう結論を出した後、彼等は立ち上がりその場から去っていった。

破壊尽くされた貴族の屋敷の跡地から。

少年は、転生した。

その心に劣等感を抱えながら、彼は異世界に転生した。
傲慢な貴族エリートが多く存在する【ゼロの使い魔】の世界に。

そこで、彼は少女と出会った。

自分よりも二つ年下の癖して、疲れたような表情をしている少女と。

そして、彼は手を差し伸べた。

そんな弱くて可哀想な少女に。

だって彼女は 自分と同じ存在マイナスだから。

そう考え、彼は同類マイナスに手を差し伸べ、そして物語を歩き始めた。
負け組同士の、くだらない物語を。

そんな二人は 過負荷マイナスと呼ばれる存在である。

（後書き）

ジョゼット過^{マイナス}負荷化。

一応成る道筋も、彼女の過^{スキル}負荷も考えております。

あと、何故か日本刀装備の侍ガール化も。

本当に書くとしたら、先に今書いている方を終わらせてからに成りますね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8302y/>

魔法（プラス）過負荷（マイナス）虚無（ゼロ）

2011年11月24日19時57分発行